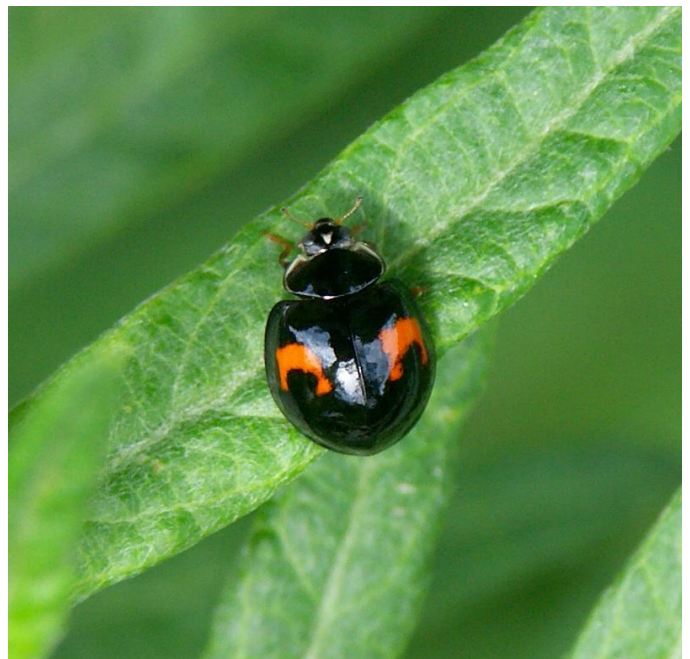


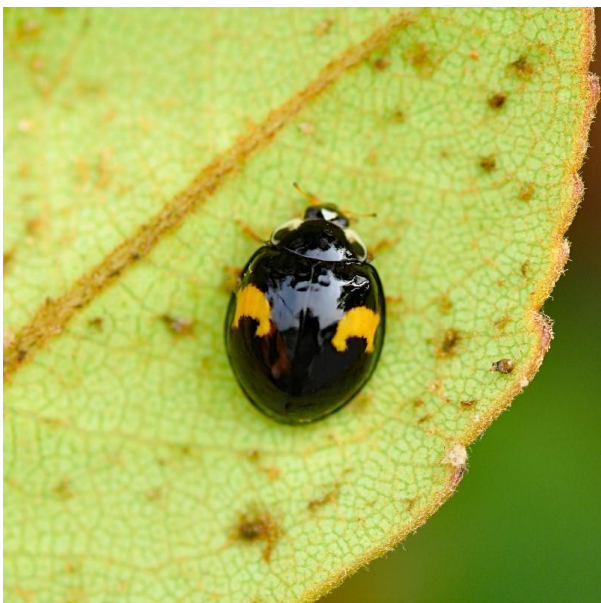
テントウムシ

名前の由来は、太陽に向かって飛び立つように見えるところから、天道（太陽の神）虫…テントウムシと名がついたそうです。ちなみにテントウムシ科は全国で120種類ほどいるみたいです。そのなかの「ナミテントウ」という種類を集めてみました。すべて福田の里山で撮ったものです。まだまだ多くの違った模様があると思うのでこれからも注意して探してみます。

一般にはテントウムシといえば「ナナホシテントウ」を指すそうです。他の種類（トホシテントウ・ニジュウヤホシテントウなど）とよく似たものがあるので特定が難しいのですが、図鑑などで細かく確認すると何とか分かってきます。

大ざっぱに分けると無地のもの、赤地に斑点があるもの、黒地に斑点があるものなどがあり、点（斑）の数が2個・4個・10個以上あるものなど様々で、二斑型・四斑型・紅型など、ややこしい名前がついています。







これらが同じナミテントウという 1 種類とは驚きです。

赤木賢治通信員